ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす
令和元年 No.313 5月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

衆参同日選挙はあるのか
会期末を控え、激しさを増す与野党対決

時代は、平成から令和へ

年号が平成から、令和に変わった。さて、1月28日に召集された第198通常国会は、6月26日の会期末まで、残すところ1カ月余りとなった。国会では、今までに多くの法案が成立したが、今後、審議すべき法案の中には、議員歳費削減法が残っている。この法案、各党の思惑があって、なかなか合意が得られない。その上、野党は、参議院選挙を意識して、衆参の予算委員会での集中審議を要求して、与野党対立の場を作ろうとしているが、与党として、安易に受け入れることはできない。ところで、今永田町では、衆参同日選挙の話題が徐々に盛り上がってきている。議員の中でも同日選挙は絶対にないと言う人、いや官邸の動きを見ていると同日選挙の匂いがすると囁く人、様々である。米中貿易摩擦の激化、景気悪化の兆しが見られる中、予定通り消費税増税を実行するのか、衆参同日選挙を巡る話題に事欠かない。果たして、どうなるのか、安倍首相以外、誰も知る人はない。

トランプ大統領夫妻と非公式夕食会に臨む
(出典:首相官邸ホームページ)

参議院御即位に賀詞を奉呈

天皇陛下が5月1日に御即位された。参議院では、新天皇に祝意を表すために、全会派の委員が参加した「賀詞案起草に関する特別委員会・末松信介委員長」を設置、賀詞案の協議を行った。協議の結果、全会派の賛同を得て、賀詞案が整った。

賀　詞

天皇陛下におかせられましては　風薫るよき日に　御即位されましたことは
まことに歓喜に堪えないところであります
天皇皇后両陛下が御清祥であられ　令和の時代が悠久の歴史に新たな
希望と光を添えるものとなりますよう　心からお祈り申し上げます
ここに参議院は　国民を代表して　院議をもって　謹んで慶祝の意を表します

参院選―私の主張―

京都府参議院選挙区第4支部長

西田　昌司(60)

「経世済民」こそ アベノミクスの原点である

経世済民とは世を経(おさ)め民を済(すく)うという意味で、これを略して経済という言葉が生まれました。経世済民という言葉はまさに国家が行うべき政治の在り方を端的に示しています。

具体的には、いかなる外敵からも国民を守ること、二度と国民が戦禍に巻き込まれることのないよう、外交・安全保障政策の充実が肝要です。また、国民が災害に遭わないようにすること、そのためには防災・減災の充実が必要です。また、不幸にして被災した国民は直ちに救助しなければなりません。このように個人の力ではどうしようもない不幸から国民を守ることが、国家の使命であり、経世済民そのものです。

そういう意味では、インフルエンザをはじめとする伝染病のまん延から国民を守ることなど、医療行政の充実も経世済民の観点から重要です。さらに、国民を貧困から救うことも大切です。バブル崩壊後、日本経済は急激にデフレ化し、GDPの低迷が続きました。安倍内閣で改善の兆しは見えていますが、地方や中小企業はまだ十分にその恩恵にあずかれていません。給与の低下が少子化の一因であり、それがさらなるデフレを産み出しています。一部の大企業が利益を独り占めすることなく、中小企業や従業員への分配を増やす必要があります。税と予算による企業所得の再分配を考えるべきです。

国民に高い教育を受けさせることも、経世済民の原点と言えます。また、食料確保は経世済民の1丁目1番地です。このように考えると、国家予算は全て経世済民のためのものと言っても過言ではありません。国家が経世済民のための事業を予算化することで、国民経済が動き出すのです。

しかし、バブル崩壊以後はデフレ不況のため税収が落ち込み、経世済民より財政健全化が優先され、歳出は極端に抑えられました。旧民主党政権時代の事業仕分けはその典型です。その結果、景気はさらに悪化し、税収も落ち込みました。こうした中「経済再生なくして財政健全化なし」を掲げた安倍内閣の再登場で、旧民主党政権時代より経済状況は格段に良くなったのです。

一方で、東京と地方や大企業と中小企業とでは、所得や資産の格差があることも事実です。バブル時代にまん延した独り勝ちを良しとする考えでは、国民を幸せにできません。日本人の本来の価値観である、分かち合いの精神を生かした経営に企業も戻るべきです。

全ての国民に幸福を実感してもらうためには、官民が互恵と互助の精神を取り戻すことが必要です。それが私の目指す経世済民なのです。

二ノ湯智京都府連会長と由良川流域の被災状況について説明を受ける西田昌司支部長

西田　昌司(にしだ　しょうじ)

昭和33年9月19日、京都市南区生まれ。滋賀大学経済学部を卒業。昭和62年、税理士事務所を開設。平成2年、京都府会議員に初当選(当選5回)。平成19年、参院議員に初当選(当選2回)。党全国青年議員連盟会長、党京都府連会長などを歴任。現職は党参院国対委員長代行、党税調幹事、党整備新幹線等鉄道調査会副会長。

趣味は山歩き。座右の銘は一灯照隈 万灯照国

西田昌司事務所

〒601-8031 京都市南区烏丸通十条上ル西側
TEL：075-661-6100　FAX：075-661-6900
E-mail：office@showyou.jp

ホームページアドレス　http://showyou.jp/

参院選―私の主張―

党滋賀県参議院選挙区第1支部長

二之湯　武史(42)

旧来モデルを脱却し、わが国を新しいステージへ！

戦後73年が経ち、わが国の姿も大きく変化しました。かつては「キャッチアップ型社会」で大きく成功し、世界第2位の経済大国にまで成長しましたが、奇跡の高度経済成長を可能にした人口増加や内需拡大はすでに終わり、現在は「人口減少社会」「成熟社会」に入っています。

また、世界においても「グローバル化の進展」「地球規模での気候変動」「新興国の台頭」「科学技術の飛躍的進歩」などにより、人類社会の在り方が変化を迫られているといっても過言ではありません。

特に、急激な少子高齢化による「人口構造の変化」、また社会の成熟化、ライフスタイル・価値観の多様化、経済のグローバル化に対応するための「付加価値創造力(稼ぐ力)の向上」は、わが国の今後100年を描く上で必ず乗り越えなければならない、大きな国家的課題であると認識しております。

私は、今のわが国を冷静に分析したとき、かつての成功体験があまりにも強烈過ぎて、その延長線上でしか発想ができなくなっていると思います。変化する必要性は理解しているが、これまでのやり方を捨ててまで変われないという姿を、あらゆる地域や組織で見ることができます。

しかし、一人一人が勇気を持って変わらなければならないのです。モノの豊かさから心の豊かさへ。短期的な成長から持続的な成長へ。多様性を認め合い、常に革新が生まれる「創造的社会」へ。

そのための私の使命はただ一つ。それは、わが国が変化しなければならない必要性を丁寧に訴え、それを国民の皆さまに「共感」してもらうことです。

政治家は地に足のついた実践者であると同時に、自らの哲学に基づいた発信者でなければなりません。これまでも、新しい価値を創るために「旧来モデル」を脱却して、100年持続可能な新たな「価値創造国家」を樹立したいという思いで、常識にとらわれない発想と行動で活動してまいりました。

そして今後も、わが国と湖国「滋賀県」に備わっているポテンシャルを最大限に引き出すために、有権者にとって耳の痛いことも含めて迎合せず真実を語っていくつもりです。

時代にふさわしい変革によって、わが国そして滋賀県を新しいステージへ！

この国を覆う閉塞感を何とか打ち破り、活力にあふれた美しい国を次世代につなげていくために挑戦を続けてまいります。

参院予算委員会にて『昭和モデル』の脱却こそが、わが国の潜在力を最大限に引き出す秘訣だと訴える二之湯武史支部長

二之湯　武史(にのゆ　たけし)

昭和52年1月21日生まれ。滋賀県大津市在住。洛南高校、京都大学経済学部を卒業。松下政経塾、稲盛財団、起業、会社役員を経て、平成25年参院選で滋賀県選挙区から初当選。参院で予算委員会理事、憲法審査会幹事、環境委員会委員、自民党で憲法改正推進本部幹事、教育再生実行本部事務局次長、スポーツ立国調査会事務局長、文化立国調査会事務局長代行、農産物輸出委員会委員長代理などを務める。

二之湯武史事務所
〒520-0051 大津市梅林1-3-25　森田ビル6F
TEL：077-527-4010
FAX：077-527-4030
ホームページアドレス　http;//www.ninoyutakeshi.jp/
LINE@QRコード

紹介者ハガキを同封いたしました。両府県の方をご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

自民党全国政調会長会議
選挙公約に地方の声を反映

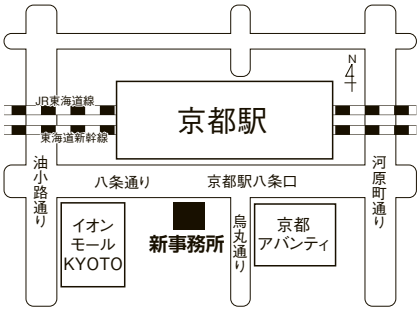
参議院選挙まで、2か月を切った。自民党本部は、選挙において国民に約束する公約作りを急いでいる。5月17日、党本部で全国都道府県連の政調会長が一堂に会し、全国政調会長会議が開催された。公約の中に、出来るだけ地方の声を反映させたいというのが、会合の趣旨である。

多くの会長から、切実な地方の声が、寄せられた。二ノ湯参議院議員も政調会長代理として出席した。主な要望は次の通りである。

○国土強靱化の推進○地方財政の充実○簡素な消費税の導入○女性活躍の推進○豚コレラ対策○道路整備の充実○農業における高齢者対策○ポスト復興庁に替わる国の機関の設置○木材需要の促進○事業承継税制の充実○若者に魅力ある地域作り○地域と外国人労働者との共生社会への取り組み

西田選挙事務所が開設

西田昌司参議院議員予定候補者の戦いの拠点となる新しい事務所が、京都駅八条口前(旧野中広務事務所)に開設された。来る6月15日(土)、午前10時から事務所開きが行われる。



京都駅八条口前(元 野中広務事務所)

京都市南区東九条上殿田町52
KKDビル2階

無所属当選の2人、自民党議員団へ
府議の森口氏、京都市議の豊田氏

4月7日、投開票された統一地方選挙で、京丹後市選挙区から2人の無所属候補が1議席を争った。その結果、森口亨氏が、初当選を果たした。選挙前の自民党常任選挙対策委員会で、当選した方を追加公認とするという決定があったことから、森口氏は自民党の府会議員に自動的になった。それを受けて、自民党府会議員団は、森口氏の府議団への加入を認めた。一方、京都市会議員選挙で、豊田恵美氏は、左京区から自民党推薦、無所属の立場で立候補した。しかし、選挙管理委員会へは、自民党として所属党派証明書を提出しており、実質は自民党公認候補と何ら変わりなく、当選後の最初の自民党市会議員団会議で、会派入りが認められた。府会議員団は30名、市会議員団は21名となり、共に、第1党となった。

自民府連
参議院選挙総決起大会

自民党京都府連では、来るべき夏の参議院選挙での自民党公認候補者の必勝を目指し、決起大会を開催いたします。多数ご来場下さい。

とき　**令和元年6月15日(土)**
13時30分

ところ　**ANAクラウンプラザホテル**
(中京区堀川御池上る)

身辺雑記

一、多額の軍事費を使って、核やミサイルの開発を進める北朝鮮。国民には、食料が回らず、1千万近い国民が食料危機の状態にあると推測されている。韓国は軍事脅威にさらされながら、同胞愛と人道的立場から、食料援助をするという。

一、先日、大津市で、横断歩道で待機していた保育園児の列に、車が突っ込み2歳になる園児が2人亡くなり、多くの園児が怪我をした。痛ましい事故を防止するためにも、絶対に安全運転に心がけねばならない。

一、初めての10連休が終わった。公務員や大企業の社員は心置きなく、連休を楽しんだことだろう。しかし、多くの人は、そう簡単には休めない。貧乏性の私は仕事が気になり、結局毎日事務所に顔を出した。

一、先日、体一面にジンマシンが出た。湿疹は精神的なことが原因で、起こることが多いと言われている。私のことを、何の心配もなく、順風満帆な人生だろうと、多くの人が言う。それなりに悩みも苦労もある。

一、往年の大スター京マチ子さんが亡くなった。60才過ぎの秘書に、京マチ子さんが亡くなったねと言ったら、余り反応がなかった。時代の移り変わりとはいえ、古いことを知る人がだんだんといなくなり、寂しいことである。

一、以前から、ホテルの食べ残しやコンビニでの売れ残り品の処分に疑問を持っていた。ようやく食品ロスの問題が大きな関心事となってきた。十分食べることが出来るのに、捨ててしまう。無駄をなくし、資源を大切にしなければならない。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会
年会費　1口1万円
入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228